

目 次

| | | | |
|----|-----------------------|-----|----|
| 1 | 進路関係日程及び提出書類 | ・・・ | 2 |
| 2 | 進路の決定にあたって | ・・・ | 3 |
| 3 | 進路の日を迎えるにあたって | ・・・ | 6 |
| 4 | 保護者のみなさまへ | ・・・ | 10 |
| 5 | 私立高等学校 願書記入上の注意 | ・・・ | 11 |
| 6 | 公立高等学校 願書記入城の注意 | ・・・ | 12 |
| 7 | 平成23年度 公立高等学校全般について | ・・・ | 13 |
| 8 | 平成23年度 国立高等専門学校全般について | ・・・ | 17 |
| 9 | 平成23年度 私立高等学校全般について | ・・・ | 19 |
| 10 | 国立高等専門学校全般について | ・・・ | 22 |



進路関係日程及び提出書類

| 月日 | 進路行事 | 提出書類名 | 配布日 | 提出締切 |
|-------------------|---|-----------------------|---------------------|----------|
| 11/12(金)～11/18(木) | | 第3回進路希望調査 | 11/12(金) | 11/18(木) |
| | | 調査書用 諸活動記録用紙 | 11/5(金) | 11/11(木) |
| 11/24(水)～12/1(水) | 三者面談 | | | |
| | | 受験校確認書 | 11/19(金) | 12/2(木) |
| | | 推薦希望届 | 受験高校確認書と引き換えで配布します。 | 12/2(木) |
| | | 私立高校願書 | 受験高校確認書と引き換えで配布します。 | 12/15(木) |
| 12/11(土)～12/13(月) | 推薦入試校内選考結果送付 | | | |
| | | 国公立推薦願書 | 12/13(月) | 12/16(木) |
| 12/16(木)～12/21(火) | 私立高校面接練習 | | | |
| 1/11(火)～1/12(水) | | | | |
| 1/12(火)～1/24(月) | 私立・公立高校面接練習 | | | |
| 1/21(金) | 高専推薦入試 | | | |
| 1/26(水) | 私立高校入試(大崎, 東陵, 古川, 西山) | | | |
| 1/27(木) | 私立高校入試(気仙沼女, 古川, 西山) | | | |
| 1/31(月) | 公立高校推薦入試 | | | |
| 2/1(火) | 私立高校入試(東北, 学院榴ヶ岡, 東工大, 宮城学院, 聖和, ウルスラ) | | | |
| 2/3(木) | 私立高校入試(学院, 明成, 生文大, 白百合, 尚綱, 常盤木, ドミニコ, 育英) | | | |
| 2/7(月) | 公立高校推薦合格発表 | | | |
| | | 公立高校願書 | 2/8(火) | 2/14(月) |
| | | 公立高校受験届 | 2/8(火) | 2/14(月) |
| | | 私立高校入学諸経費 納入手続き確認書 | 1/28(金) | 2/21(月) |
| 2/20(日) | 高専入試 | | | |
| 2/25(金) | 高専合格発表 | | | |
| 3/9(水) | 公立高校入試 | | | |
| 3/15(火) | 公立高校合格発表 | | | |
| | | 進路決定届 | 1/20(木) | 3/16(水) |

進路決定にあたって

いよいよ進路を決定しなければならない時期となりました。人生の節目にあたり、進路について保護者と真剣に話し合うことが大切です。そうすることが、自分の人生に責任を持ち、生き甲斐を持つことにつながります。

1. 進路の決定の仕方

(1) 保護者と生徒が話しあって

- ① まず学校の種別（学科）を決めます。
- ② 次に特定の志望校を決めます。

(2) 進路決定の主体は

- ① 先生が生徒の進路を決定するものではありません。進路の決定はあくまでも生徒本人が主体となって保護者と相談しながら決定していきます。
- ② 先生は、生徒本人が進路を決定するための情報を提供し、助言・援助するものです。

(3) 志望校選定の基準は

- ① 本人と保護者の希望は
 - ② 本人の将来の目標は（人生観・職業観）
 - ③ 学力・能力は
※ 実力が伴わなければ入試は失敗します。実力以上の学校に入学したとしても、学習の進度に追いつかなくなることがあります。
 - ④ 適性は
 - ⑤ 興味・関心は
 - ⑥ 性格・身体的条件は
 - ⑦ 家庭的・経済的条件は
- 以上のことなどを総合して決めましょう。

(4) 志望校についての具体的な検討を

- ① 学校の所在地は
- ② 交通機関と所要時間は
- ③ 通学時の交通事情は
- ④ 合格の可能性と満足度は

(5) 保護者の意見と本人の意見が異なる原因は

- ① 現在の高校制度や学校の内容を十分知らないために起こる問題。
- ② 能力・適性をはっきりとつかんでいないことから起こる問題。
※ 過大評価、卑下など
- ③ 将来についての見通しと手順がはっきり結びつかないことから起こる問題。
※ 一応高校へは入れておこう。あとは何とかなるだろうというような考え。
- ④ 高校に対する誤った学校の評価や先入観から起こる問題。

(6) 志望校の決定にあたって戒めたいこと

- ① 親しい友達がその学校を受けるからというだけで決めるのはよくありません。
- ② 国公立・私立とも毎年受験事情は変化してきています。よりどころのない情報に惑わされてはいけません。
- ③ だめかもしれないが〇〇高校を受けてみよう、受けさせてみようという安易な考えはいけません。不合格だった場合、思った以上に傷つくことがあります。
- ④ 懇意の人がその学校にいるから有利だろう、合格させてくれるだろうという安易な依頼心はいけません。そのような個人的な便宜を図ってくれる学校はありません。

- ⑤ 志望校に対する過度の優越感・劣等感を抱いたり，抱かせてはいけません。
- ⑥ 普段の学習態度や学習状況が大切です。単に結果（成績）のみに気をとらわれてはいけません。
- ⑦ あきらめや取り越し苦労はしないようにしましょう。
- ⑧ はじめから「浪人覚悟」などという無茶な計画はいけません。

2. 受験期の子供を持つ保護者の心得

- (1) 進路選択については，子供の相談相手になりあたたかく励ましてください。
- (2) 生活をできるだけ規則的にして，計画的に学習時間をとれるように応援してください。
- (3) 安定した明るい家庭を作り，安心して学習できる環境を作ってください。保護者が必要以上にいらいらしたりするのはマイナスにしかありません。
- (4) 願書や入学金納入などの手続きは，絶対に締め切りに遅れないでください。また，願書などを書く場合，住所・氏名・生年月日などは正確に書いてください。住民票と一致するようにしてください。
- (5) 子供まかせにせず，必ず保護者の責任において，手続きや書類の提出をしてください。

3. 三者面談

- (1) 11月の面談では，第3回進路希望調査をもとに，生徒・保護者・学級担任の三者で，進路決定についての話し合いをします。事前に親子でよく話し合っておいていただきたいと思います。
 - 私立高校の受験校を決定する。
 - 公立高校の受験校についての方向付けをする。
 - 推薦・専願・第1志望・特待生・奨学生等の希望があれば確認をする。
- (2) 学級担任による助言は，学校として話し合っただけの結果に基づいたものです。
- (3) 三者面談で受験校を決定後に「受験校確認書」を書いていただきます。その「受験校確認書」と引き換えに，進路指導室で受験校の入学願書等を受け取っていただくことになります。もし三者面談で決定できなかった場合は，受験校が決定次第学級担任に報告していただき，「受験校確認書」と引き換えに入学願書等を受け取ってください。入学願書等の受け取り後は，受験校の変更のないようお願いいたします。

4. 受験手続き

- (1) 学校では，「受験校確認書」に基づいて必要な準備や手続きを計画的に進めています。
- (2) 「受験校確認書」と引き換えに，受験校の入学願等の必要な書類（『生徒募集要項』または『入試要項』という冊子には，必要な書類等がすべてつづられています。）をお渡ししますので，大事に扱ってください。推薦希望者は，「受験校確認書」と引き換えに，「推薦希望届」を配布します。推薦希望者は，「推薦希望届」を12月2日（木）までに提出してください。〔配付期間は，三者面談期間11月24日（水）～12月1日（水）と2日（木）となります。〕
- (3) 私立・国立高専の推薦等受験と公立の推薦受験については，校内の「調査書作成等委員会」で決定します。国公立の推薦用願書は12月13日（金）に配付します。なお，公立高校の一般受験用願書の配付は2月8日（火）の予定です。
- (4) 入学願書等の提出期限は，高校ごとに決まっています。それに間に合うように学校でも余裕をもって作業を進めますので，校内の提出締め切りを厳守してください。

5. 入学願書等の記入

- (1) 願書等の記入は，記入上の諸注意をよく読んで，くれぐれも間違いのないようにお願いします。（願書等の余分はありません。）下書き用紙を学級担任にチェックしてもらってから清書してください。
- (2) 氏名・住所等の記載は，住民票の記載どおりに書いてください。念のために六郷行政サービスセンター等で住民票をとって確認することをお勧めします。
- (3) 印鑑は朱肉で捺印してください。シャチハタ等のインク式は認められませんので御注意ください。
- (4) 間違った場合は二重線（＝）で消して，訂正した上に訂正印を押してください。修正液や修正テープなどは絶対に使わないでください。（訂正印がない場合は，普通の印鑑でも構いません。）

- (5) 願書等の詳しい記入例と下書き用紙を、願書等と一緒にお渡しする予定ですので参考にしてください。
- (6) 記入の仕方など分からないことがあったら、記入する前に学級担任に確認してください。
- (7) 願書に写真の必要な学校もあります。サイズは学校によって異なりますので、早めに準備をさせてください。公立高校、私立高校の数校では、デジタル写真での撮影でプリンタ印刷を認めている場合があります。ただし、普通紙への印刷は不可です。必ずフォトプリント用紙にプリントアウトしてください。なお、写真の裏面に、学校名・氏名の記入が必要です。
- (8) 入学検定料の銀行等への振り込み期間が決められています。特に、開始日をよくご確認ください。

6. その他

- (1) 私立高校の受験科目は学校によって5科目、3科目など様々です。入試準備を進める際に注意をしてください。
- (2) 推薦・専願・特待・奨学生などで受験し合格した場合は、必ず入学させてください。国立高専（一般試験）や、公立高校に合格した場合も、同様です。
- (3) 県外受験者は受験制度が異なり、複雑な手続きが必要となります。転勤などの可能性のある方は早めに担任と相談してください。



受験の日を迎えるにあたって

1. 入試1週間前

(1) 学習仕上げの方法

- ① 難しい問題や入試対策問題などに取り組むより、基礎のまとめの問題などを行いましょう。
- ② 授業中も普段と変わりなく、一生懸命集中しましょう。
- ③ 暗記事項は一つでも多く覚えようとするよりも、ミスを少なくした方がよいです。今までに学習したもので自信のあるものを繰り返し確実に復習しましょう。

(2) 健康管理の方法

- ① 規則正しい生活を送り、夜遅くまで学習するなどの特別なことをしないようにし、睡眠時間を確保しましょう。朝は、入試当日と同じ時間に起きるようにしましょう。
- ② インフルエンザなどが流行する時期です。うがいや手洗いなどを習慣化するようにしましょう。
- ③ バランスのとれた栄養管理を心がけ、スタミナがつくなどと量を増やしたり油濃いものなどは避けましょう。
- ⑤ ここまで来て悩んでも仕方がないので、できるだけ前向きな気持ちになるように心がけましょう。

(3) 受験の準備

- ① 受験校の下見をしておきましょう。試験当日と同じ時間に家を出て、行き方だけでなく交通機関の時間や所要時間をメモしておきましょう。そこから逆算して余裕を持って到着するためには、何時に起きて、何時に家を出発すればよいのかという計画を立てておきましょう。
- ② 試験当日は道路の混雑が予想されます。できるだけ公共交通機関を利用するようにしましょう。(公共交通機関を利用した場合、積雪や事故などで遅れても仙台市交通局やJR東日本に、遅延証明書を発行してもらうことができます。高校側からも受験時間などで配慮されることがあります。また、大雪などで全市的に交通が麻痺している場合には、高校側で受験開始時間を遅らせる対応がなされる場合があります。遅れそうになっても、冷静に行動し、安全に受験会場に到着することを優先させましょう。)

2. 試験前日(前日までの準備)

- ① 頭髪、つめ、制服(ボタン・名札・ネクタイ・シャツ)などの身だしなみにも気を配りましょう。
- ② 持ち物のリストをつくり点検しバッグに入れて準備をしておきましょう。受験票の裏に携行品について記されている学校もあります。一般的なものは次のようなものです。

- 受験票 筆記用具 消しゴム コンパス 上靴 生徒手帳
腕時計(アラーム不可) 三角定規一組(分度器不可) ハンカチ・ティッシュ
交通費 昼食 バッグ(学校指定のもの) 10円玉数枚(公衆電話用)

★ 公立高等学校の場合、検査中の時間の管理を受検生自身が行うために腕時計持参となります。検査場では、開始と終了のチャイム(ブザー)及び「始め」・「あと5分」・「止め」の合図が出されますが、時間についてはお知らせしません。検査場に時計があったとしても、それは参考であり、正式のものではありません。

★ 携帯電話などを試験会場に持ち込むことは禁止です。また、バッグなどは落書きや改造などがなければ使い古されたもので結構です。後輩などに借りないようにしてください。

- ③ 受験番号は生徒手帳にも控えておきましょう。
- ④ 天気予報で翌日の天気にも注意しておきましょう。(雪が降ると交通機関の遅れが予想されます。)
- ⑤ 引率の先生に指示された時間や集合場所を確認しておきましょう。
- ⑥ 学習は見直し程度にしておきましょう。前日だけですべての範囲を復習することはできません。
- ⑦ 夕食は食べ過ぎず、胃腸に負担のかからないものにしましょう。
- ⑧ 早めに寝るようにしましょう。寝られなくても、身体を横にし、体を休めることが大切です。

3. 試験当日の朝

- ① 朝は早めに起きましょう。
- ② 朝食をしっかりと食べ、持ち物を再チェックしましょう。
- ③ 余裕を持って家を出ましょう。
★ 友人と待ち合わせをし、一人が時間になっても待ち合わせ場所に現れなかったために全員が遅刻おきましよう。個人的な理由で遅刻をした場合は配慮してくれません。また、そのようなときは集合場所で引率の先生に説明をしてください。
- ④ 万が一、事故や病気で欠席または集合時間に遅れそうになったときは、必ず六郷中学校（TEL022-289-2158）に電話連絡をしてください。
- ⑤ 家を出たが途中で忘れ物に気がついたときも、集合時間に遅れないようにしましょう。もし、遅れそうなときは家の人に連絡をして、直接試験会場に持ってきてもらうようにしてください。また、集合場所で引率の先生に申し出てください。（受験票は引率の先生が高校側に連絡をして仮発行してもらえることがあります。）
- ⑥ 集合場所では引率の先生が出欠を確認します。その後、指示があるのでその指示に従って行動してください。
- ⑦ 無断欠席や受験放棄は絶対にしないでください。

4. 試験場で

- ① 受付をすませ、試験場に案内されたら自分の受験番号をよく見て着席しましょう。
- ② 鉛筆は削ったものを数本、HBかBを用意し、H、2Hなどの薄いものは使わないようにします。シャープペンについても、HB以上の濃いものを準備しましょう。
- ③ 試験が始まるまではあまりうろろせず、トイレに行ったり、最後の確認などをしておくといでしょう。周囲の友達などとおしゃべりをしすぎて、心の準備ができないまま試験に臨み、焦って失敗してしまった例もあります。
- ④ 他校生とのトラブルなどを起こさないようにしましょう。試験を受けられなくなってしまった人もいます。
- ⑤ 会場では試験前の高校の試験監督の先生の説明をよく聞き、それに従って行動しましょう。

5. 試験が始まったら

- ① 答案が配られてもすぐには開けずに、高校の先生の指示に従うこと。その間、深呼吸をし、心を落ち着けてください。
- ② 試験が始まったら、まず落ち着いて解答用紙に氏名、学校名、自分の受験番号などを間違えずに記入しましょう。
- ③ いきなり問題を解きはじめるのではなく、一通り目を通し、時間配分を考えましょう。
- ④ 問題文をゆっくり読み、その意味を理解してから解き方を考えましょう。
- ⑤ 字が上手でない人も、きちんとわかりやすくはっきりと丁寧に書くようにしましょう。あまりにも小さい字や薄い字は採点者が読んでくれないときがあります。
- ⑥ なかなか解けない問題があっても、その問題ばかりに気を取られ時間が無くなるときがあります。思い切って後回しにする勇気も必要です。その場合は解答欄がずれないように注意しましょう。（特にマークシートの場合）
- ⑦ 自分にとって難しい問題は、他の人にとっても難しい問題です。それにとらわれ過ぎず、簡単な問題を確実に解けるようにしていきましょう。
- ⑧ 問題をすべて解き終わったら、時間の許す限り何回でも見直しをしましょう。
- ⑨ 試験中、定規などの物の貸し借りは、不正行為となります。十分に注意しましょう。
- ⑩ 試験中、トイレに行きたくなったり、具合が悪くなったときには、無理をせず、試験監督の先生に申し出てください。適切に指示を出してくれます。
- ⑪ 当日会場では、どんな席になるかはわかりません。戸口の寒いところ、暖房器具のすぐそばで熱すぎるなど、がまんできないときは、監督の先生に申し出てください。
- ⑫ 休憩時間はトイレなどをすませ、次の時間の準備などに当てましょう。友達と答え合わせなどをしていると、かえって不安になり、次の時間にも引きずってしまうことがあります。集中力が高められるような過ごし方をしましょう。

6. 面接の心構え

学力試験が終了したら同じ日に面接のある学校もあります。自分の面接時刻や面接場所を確認しておきましょう。（掲示か口頭で連絡があります）翌日面接がある人も、時間と場所を確認しておきましょう。

(1) 面接は何をねらいとしているのか

面接はその生徒の人柄や態度を見るのがねらいです。面接官の質問には素直に、はきはきとした態度で答えればよいでしょう。答えは特別立派なことをいう必要はありません。自分の考えをはっきりとした方がよいと思います。しかし、目上の人と応対するのですから、当然礼儀をわきまえる必要があることは言うまでもありません。

次の4点に注意することが大切です。

[◎容姿 ◎態度 ◎言動 ◎動作]

(2) 面接の心得（面接の形態により、異なる場合があります。）

- ① 自分の順番がくる前に服装などをもう一度見直し、気持ちを落ち着かせましょう。
- ② 順番がきたら静かにたって、扉をノックします。
- ③ 手はポケットの中に入れておらずに、自然と両脇へたらしめます。
- ④ 中から「どうぞ」と言われたら、静かに扉を開け、軽く会釈して入室し、静かに扉を閉めます。
- ⑤ 面接官の前まで進み、立ったまま一礼します。「座ってください」と言われてから静かにきちんと椅子に腰をかけます。
- ⑥ 椅子にかけてからはきょろきょろしたり、貧乏ゆすりをしたり、うつむいたり、頭をかいたりせず、落ち着いた態度で面接官の質問を待ちましょう。
- ⑦ 常に顔を上げて正面を見て、話しかける人に対してきちんと顔を向けます。
※相手の目を見ると緊張する人は、相手の額あるいは口元などを見ることがよいでしょう。
- ⑧ 「はい」「そうです」「いいえ」「違います」など、聞かれた内容についてははっきり答えます。名詞で終わるのではなく、動詞まではっきりと答えます。質問の意味が理解できなかったら、「すみませんが、もう一度お願いします」と聞き返してください。
- ⑨ 質問に対しては、見栄を張らず、正直に答えます。
- ⑩ 面接が終わったら、椅子の横に立ち、椅子を直して「ありがとうございました」と挨拶をして軽く会釈をします。
- ⑪ 回れ右をして扉のところまで進み、もう一度面接官に礼をして「失礼します」と言って室外に出て扉を静かに閉めます。
- ⑫ 面接が終わったからといって、廊下で大声を出したり友達と話をしたりせず、身支度をして帰宅します。校門を出るまで面接は続いていると思ってください。
- ⑬ その他、高校の先生方の指示をよく聞いて、それに従ってください。

☆面接で聞かれる内容例

- ◎家族のことについて（親の職業、現住所、兄弟関係など）
- ◎学校について（住所、電話番号、校長先生や担任の先生の名前など）
- ◎学業について（得意教科、部活、思い出に残る行事など）
- ◎趣味について（読書傾向、スポーツ、ラジオ、テレビに関する事など）
- ◎性格について（長所や短所、人に好かれる面、嫌われる面など）
- ◎志望校について（志望した理由、志望校の印象など）
- ◎社会について（最近の出来事、興味のある社会現象など）

7. 試験が終わったら

- ① 試験が終了したら、指示通りに行動をして、寄り道をせずまっすぐ帰宅しましょう。
- ② できるだけ単独行動はとらないようにしましょう。
- ③ 事故やトラブルなどがあったときは学校にも連絡を入れるようにしましょう。

8. 合格発表後の生活

- ① 私立高校の場合、入学金や授業料（分割と全納、学校や入試制度によって異なるので、よく確認すること）を合格発表後ただちに納入するようになっていきます。合格した私立高校のどこかには、必ず第一次の手続きをしてください。決められた期日・時間までに忘れずに納入しましょう。納入しないと合格が取り消しになります。手続き後の受領書は大切に保管してください。
なお、納入が完了した人は、「**私立高校入学諸経費納入手続き確認書**」を学級担任に提出します。
- ② 試験が終わるとどうしても気がゆるみがちになります。気を引き締め、次の受験や高校進学への準備をしましょう。特に私立高校が合格したために気がゆるみ、第1志望の公立高校の受験に失敗するケースがよく見られます。また、学級の仲間全員が合格するまで、お互い励まし合って生活するように心がけましょう。
- ③ 合格発表後、進路が決定した人は、**進路決定届**を担任の先生に提出してください。
また、指導していただいた先生方やお世話になった方々への連絡や挨拶を忘れずに行うようにしましょう。



保護者のみなさまへ

1. 睡眠を十分に

入試の前日だけ早く就寝させても、これまでの習慣と急に変わるとかえって寝付きにくいものです。一週間くらい前から就寝時刻を早めさせ、長時間の疲労をできるだけ解消して、すっきりした気分です試験に臨めるようご配慮ください。

2. 心身共に健康に

軽度の胃腸障害や風邪などでも、特別な心理状態からつまずきの原因になることがあります。睡眠と共に食事や生活のリズムなどにも留意して健康状態を整えるようにアドバイスしてあげてください。また、時期的にもインフルエンザが流行する時期とも重なりますので、うがい・手洗いの励行と共に人混みの中にはできるだけ出さないようにしてあげてください。

3. 試験で動じない心構えを

実力を十分に発揮させるためには、試験に動じない心構えをもたせる必要があります。折に触れ話題にしてください。そして、当日にはリラックスした気持ちで家を出発できるようにしてあげてください。

4. 身の回り

試験の時だけ身なりを整えても、かえって緊張感が増し、思わぬ失敗をしてしまいがちです。前日だけでなく、日頃から身だしなみには注意させたいものです。ご家庭でも服装や頭髮の乱れなどに留意し、本日今からでも整えさせるようにしてください。

5. 試験前日までに

- 当日と同じ時間帯に同じルートでの受験会場の下見をさせてください。当日も含め、できるだけ公共交通機関の利用を勧めます。
- 翌日の持ち物を必ず点検させてください。
- 前日の食事は翌日の健康に影響しやすいので、特に消化のよいものを適量摂らせてください。
- 前日は特に早めに寝床に入るようにさせてください。

6. 試験当日に

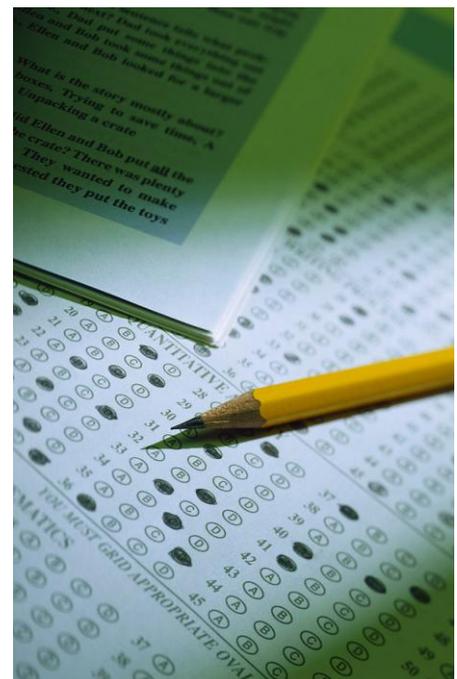
朝は余裕を持って起床させ、ゆったりとした気持ちで朝食を摂らせてください。朝食を摂らないと午前中のエネルギーが不足します。また、メニューもできるだけ早くエネルギーになるよう、消化のよい炭水化物を中心に組み立てるとよいと思います。また、精神的なゆとりを持つためにも、時間的な余裕を持って家を出られるようにしてあげてください。

7. 当日欠席の場合

万が一、何らかの理由で受験（受験）ができなくなった場合は、ただちに学校（学年主任：及川先生）に連絡をしてください。 TEL 022-289-2158

当日は笑顔とあたたかい励ましの言葉で送ってください。

きっとよい結果が得られるでしょう。



私立高等学校 願書記入上の注意

- ① まず誰が記入するのかを確認してください。
- ② 氏名については「戸籍」どおり、住所については住民票どおりに記載してください。
- ③ 願書の「提出日」は、学校で統一した月日（12月16日）を記入してください。
- ④ シャチハタ印は印鑑として認められませんので、使用しないでください。
- ⑤ 氏名の「ふりがな」「フリガナ」については、次の例のように記入してください。

| | | | | | |
|------|------|-----|------|------|-----|
| ふりがな | ろくごう | たろう | フリガナ | ロクゴウ | ジロウ |
| 氏名 | 六郷 | 太郎 | 氏名 | 六郷 | 次郎 |
- ⑥ 「続柄」については、本人からみたものなのか、保護者からみたものなのかを、記入見本を見ながら注意して記入してください。
- ⑦ 職業は具体的にお書き下さい。「会社員」ではなく「〇〇商事株式会社」
- ⑧ 写真が必要な学校もあります。枚数と大きさは募集要項にあります。遅れないように撮影してください。また、はがれた場合に困りますので、写真の裏に「学校名・年・組・氏名」を必ず記入してください。デジカメ写真のプリントアウトを認めている学校がありますが、必ずフォトプリント用紙を使用してください。普通紙は不可です。
- ⑨ 合格通知用封筒が必要な学校もあります。その場合、切手の貼付が必要なものもあります。忘れずに貼付して提出してください。
- ⑩ もし、間違った場合は、2本線で消し、訂正印を押し、その脇の部分に書き直してください。ホワイトコレクターで直したり、カッターで削ったりすることは、絶対に避けてください。訂正箇所が多くなった場合は、学級担任に相談してください。
- ⑪ 他の志望校を記入させる高校もありますが、可否には関係ありませんので正直に記入してください。
- ⑫ 第2志望を記入する学校もあります。記入忘れのないようにしてください。記入しない場合、スライド合格の可能性がなくなります。
- ⑬ 書き方に制約がある高校もありますので、御注意ください。
 - * 東北→A票はHBのエンピツで、B票は黒のボールペンで記入。
- ⑭ 願書などに切り取り線があっても、勝手に切り取らないでください。誤って切り取ってしまった場合には、セロハンテープではり合わせてください。
 - * 銀行の振込用紙と一緒の願書は、手続きをすると必要な部分を切り取ってくれます。
- ⑮ 受験教科を選択できる高校もありますので、よく考えて記入してください。
 - * 私立高校の受験料の銀行振込取扱い期間は高校によって違います。募集要項や振込用紙で確認してください。学校への願書提出は、振込を終えてからです。

記入の仕方などで分からないことがありましたら、記入する前に学級担任に確認してください。

公立高等学校 願書記入上の注意

- (1) 見本を基にえんぴつで下書き用紙に記入して、学級担任の点検を受けてください。点検確認後、願書をお渡しします。願書にえんぴつで下書きし、それを黒ペンでなぞって書いてください。定規などを使っていねいに御記入ください。

予備の願書はありませんので、大切に扱ってください。もし、間違えた場合は二重線をひき訂正印をお願いします。

- (2) 特に気をつけていただきたいこと。

① 出願高等学校名は、正式名称で。 ○宮城県仙台向山高等学校 ×向山高校

② 願書記入年月日→平成23年「**2月14日**」と記入してください。

③ 本人氏名、保護者氏名は、それぞれ自筆で記入します。

「本人氏名」は生徒本人が、「保護者氏名」は保護者本人が記入してください。

☆おもに本人（生徒）が記入する場合 →

「印」は押さないでください。

★本人（生徒）がすべてを記入する場合 →

保護者氏名のあとに押印してください。

☆おもに保護者が記入する場合 →

本人氏名以外は保護者が記入し、本人氏名は本人が記入してください。

「印」は押さないでください。

★保護者がすべて記入する場合 →

本人氏名のあとに押印してください。

- ④ 第2志望学科・コースの記入については、下書き通りに記入。

（学校により異なります）

☆第2志望が出来る場合は、忘れずに記入するようにしましょう。

- ⑤ 県立高校の受験料は、「すべて現金を学校に持ってくる」こととなります。

願書に宮城県収入証紙とありますが、絶対に購入しないように御注意ください。

収入証紙は、学校で一括購入します。

ただし、市立高校の受験料は、保護者が**指定の納入通知書（納付書）**で指定の金融機関で納付してください。その「領収書を願書裏面」に貼ってください。

☆ 県立高校（全日制）→現金2,200円を封筒に入れて担任に提出。

（定時制）→現金950円を封筒に入れて担任に提出。

★ 市立高校（全日制）→専用の納付書を担任から受け取り、金融機関で受験料（2,200円）を納付し、その領収書を願書裏面にはる。

市立高校（定時制）……専用の納付書を担任から受け取り、金融機関で受験料（950円）を納付し、その領収書を願書裏面にはる。

平成23年度 公立高等学校全般について

1 募集及び出願

(1) 出願できる高等学校

募集定員：「平成23年度宮城県公立高等学校入学者選抜における募集定員等一覧」で確認する。

(2) 出願できる高等学校

宮城県内全県一学区制によりすべての公立高等学校に出願できる。

(3) 出願できる課程及び学科・コース

① 出願は、1課程、1学科、1コースに限ります。

② 農業、工業、商業、又は水産に関する学科の小学科又はコースに出願する場合は、出願する小学科又はコースが属する学科内の他の小学科又はコースの1つを第2志望とすることができます。

③ 農業、工業、商業、又は水産に関する学科において、類似学科の一括募集を実施する場合は、一括された2つ以上の学科を1つの学科として扱います。

〈一括募集実施校：3校〉※入学願書の学科記入時に注意してください。

学 校 名

一 括 募 集 学 科

宮城県柴田農林高等学校

食農科学科と動物科学科

森林環境科と園芸工学科

宮城県農業高等学校

農業科と園芸科

仙台市立仙台工業高等学校

建築科と土木科

機械科と電気科

④ コース制をとる普通科に出願する場合は、その普通科内の他のコースの1つを第2志望とすることができます。

⑤ 家庭、看護、理数、体育、美術、英語に関する学科又は総合学科に出願する場合は、その高等学校の普通科（コース）を第2志望とすることができます。

⑥ 宮城野高等学校の美術科に出願する場合は、同校の総合学科を第2志望とすることができる。

⑦ 小牛田農林高等学校の農業技術科に出願する場合は、同校の総合学科を第2志望とすることができます。

⑧ 東松島高等学校のⅠ部、Ⅱ部、Ⅲ部のいずれかに出願する場合は、他の2つの部のうち1つを第2志望とすることができます。

⑨ 仙台大志高等学校のⅠ部に出願する場合はⅡ部を、Ⅱ部に出願する場合はⅠ部を第2志望とすることができます。

(4) 入学者選抜手数料：平成23年度は以下の通りです。

○全日制課程：2,200円 ○定時制課程：950円 ○通信制課程：200円

① 県立高等学校志願者

入学願書に宮城県収入証紙を貼付します。収入証紙は消印してはいけません。本校では、入学願書提出時に現金で担任に提出します。本校で宮城県収入証紙を一括購入します。

② 仙台市立高等学校志願者

収入証紙ではなく、事前に指定の納入通知書兼領収書（納付書）により、納付書裏面記載の仙台市指定金融機関等で納入し、入学願書裏面に貼り付けて提出します。ただし、願書上部の写真票裏面には貼り付けてはいけません。

(5) 定時制課程

① 推薦入学、予備調査、出願、学力検査日は、全日制課程と同じです。

2 志願者予備調査

県内の中学生を対象にした公立高等学校の志願者数の予備調査が、11月と1月に公表されます。

(1) 第1回入学志願者予備調査

本校では、「第2回進路希望調査」を第1回入学志願者予備調査と兼ねます。

- ① 10月 8日（金）：本校で第2回進路希望調査を配付
- ② 10月20日（水）：第2回進路希望調査提出締切
- ③ 11月12日（金）：集計結果公表

(2) 第2回入学志願者予備調査

本校では、「受験校確認書」を第2回入学志願者予備調査と兼ねます。

- ① 12月 2日（木）：受験校確認書提出締切
- ② 1月21日（金）：集計結果公表

3 推薦入試

(1) 推薦入試の実施について

- ① すべての高等学校は、推薦入試を実施することができます。詳しくは、「募集定員等一覧」を参照。
- ② 推薦入学者の割合として、普通科は定員の30%以内（コースにあっては定員の40%以内）、その他の学科は40%以内。ただし、体育科・スポーツ科学科・美術科は60%以内。
- ③ 同一高等学校に対して各中学校より推薦できる人数の制限はありません。ただし、学校推薦となるため、調査書作成委員会の承認のち、学校長の推薦が必要になります。日常の学校生活内の言動、服装、評定などを総合的に判断し、学校推薦にふさわしい人物と調査書作成委員会で認められた場合のみ、推薦入試受験資格を得ることができます。推薦の希望を出されても、学校推薦が認められない場合があります。
- ④ 「期待する生徒像」については、推薦入試実施校全校が自校のホームページに掲載されています。

(2) 出願資格：推薦の条件は以下の5点である。（宮城県教育委員会発表）

- ① 平成23年3月に本県内の中学校を卒業する見込みの者であること。
- ② 当該高等学校、学科・コースを志望する動機や理由が明白で適切であること。
- ③ 当該高等学校、学科・コースに対する適性及び興味・関心を有すること。
- ④ 中学校の学習や生活に意欲的に取り組み、人物が優れていること。
- ⑤ 調査書の記録について、その内容が優良であること。

※ 推薦入試を受けても、必ず合格するわけではありません。一般受験や他校との併願も考えておいてください。

※ 推薦受験を希望する場合は、三者面談時に推薦希望届を学級担任から直接受け取ってください。記入後、12月2日（木）までに学級担任に提出してください。

(3) 推薦入試関係の日程

- ① 推薦入試願書提出締切：平成22年12月16日（木）
- ② 推薦入試面接・実技実施日：平成23年1月31日（月）
- ③ 推薦入試結果通知：平成23年2月7日（月）午後4時に各高等学校で発表します。

(4) 合格者、不合格者の取り扱い

- ① 合格者：一般入試及び第二次募集並びに通信制課程に出願できません。必ず入学してください。中学校から「合格通知書」と「推薦入試合格者の入学準備物の受け取りについて」の文書を受け取ります。
- ② 不合格者：一般入試に出願できます。推薦入試と同一校でも、同一校でなくてもかまいません。出願手続きは入学者選抜手数料を含めて再度行ってください。

4 一般入試

(1) 出願資格：推薦入試に合格した者は出願できません。

※ 国立高専を第1志望とする者も出願手続きできます。ただし、国立高専に合格した場合には受験辞退届を中学校から志願公立高等学校に提出しますので、公立高等学校は受験できません。

(2) 学力検査：出願した高等学校で受験します。平成23年度は以下の通りです。

【日程】

| | | | |
|--------|-------|--------|--------------------|
| 8：30～ | 9：05 | 受付・書注意 | ※試験時間は1教科50分。 |
| 9：05～ | 9：55 | 国語 | ※計算機・翻訳機は使用不可。 |
| 10：15～ | 11：05 | 数学 | ※携帯電話等の持ち込みは厳禁。 |
| 11：25～ | 12：15 | 社会 | ※アラーム付き腕時計の持参を避ける。 |
| 12：15～ | 13：00 | 昼食・休憩 | |
| 13：00～ | 13：50 | 英語 | |
| 14：10～ | 15：00 | 理科 | |

(3) 選択問題について

①実施教科： 数学，英語

②形式： 数学及び英語の学力検査問題大問の一つにA，B2種類の問題を用意し、いずれか一方を高等学校が選定します。

※選択問題A：基礎的，基本的な内容の設問を多く設定した大問

※選択問題B：思考力や表現力をみる設問を多く設定した大問

(4) 傾斜配点： 教科によって配点の比重（1.5~2.0倍）を変えます。平成23年度は以下の7校9学科・コースで実施します。

| 学校名 | 学科・コース | 傾斜配点教科 | 傾斜倍率 |
|---------------|-----------|--------|-------|
| ① 宮城県白石高等学校 | 普通科 | 英語，数学 | 各1.5倍 |
| ② 宮城県仙台向山高等学校 | 理数科 | 英語，数学 | 各1.5倍 |
| ③ 宮城県仙台東高等学校 | 英語科 | 英語 | 2.0倍 |
| ④ 宮城県多賀城高等学校 | 普通科 | 英語，数学 | 各1.5倍 |
| ⑤ 宮城県富谷高等学校 | 普通科・人文コース | 国語 | 2.0倍 |
| | 普通科・国際コース | 英語 | 2.0倍 |
| | 普通科・理数コース | 数学 | 2.0倍 |
| ⑥ 宮城県古川高等学校 | 普通科 | 英語，数学 | 各1.5倍 |
| ⑦ 宮城県古川黎明高等学校 | 普通科 | 英語，数学 | 各1.5倍 |

(5) 面接・実技等：一部で実施する高等学校があります。詳しくは「募集定員等一覧」を参照。

(6) 一般入試関係の日程

①願書提出締切：平成23年2月14日（月）

②学力検査日：平成23年3月9日（水）

※ 学力検査当日に「一般入試合格者の入学準備物の受け取りについて」の文書を受け取ります。

③合格発表日：平成23年3月15日（火）午後3時

※合格者については、3月16日（水）に中学校から「合格通知書」を受け取ります。

5 第二次募集

(1) 第二次募集の実施について

① 一般入試の出願者数が募集人数に満たない学科・コース，又は推薦入試及び一般入試の合格者数の合計が募集定員に満たない学科・コースについて実施します。

② 2月下旬に第二次募集実施予定校を公表し，公立合格発表当日に実施確定校を公表します。

(2) 出願資格

- ① 公立及び私立高等学校の学力検査を受験し、いずれの高等学校にも合格していない者。
- ② 私立高等学校の入学試験に合格したが（第一次手続きは行ったが）、最終の入学手続きをとらない者。
- ③ 公立高等学校の一般入試に出願したが、病気や不慮の事故で受験できなかった者。
- ④ 公立及び私立高等学校いずれにも出願しなかった者。
- ⑤ 通信制課程との併願はできません。

(3) 学力検査等：実施教科、実施時間、面接・実技・作文等は実施する高等学校ごとに定めます。

(4) 第二次募集関係の日程

- ①出願期間：平成23年3月16日（水）～18日（金）午後3時まで
 - ②学力検査日：平成23年3月22日（火）～23日（水）
 - ③合格発表：3月22日（火）～23日（水）
- ※学力検査等の実施日及び合格発表は各高等学校によって定めます。

6 通信制課程

本県では、宮城県仙台第一高等学校のみで実施します。入学願書や入学案内等は、受験者希望者が実施校から直接取り寄せます。

(1) 出願資格：推薦入試、一般入試のいずれかに合格した者は出願することができません。第二次募集との併願も不可です。

(2) 通信制課程関係の日程選抜

- ①出願期間：平成23年2月16日（水）～3月17日（木）午前11時まで
- ②選抜：書類審査のみ。必要に応じて面接が課される場合もあります。
- ③選抜結果：平成23年3月31日（木）までに郵送により本人に通知されます。

7 その他

(1) 公立高等学校に合格した場合は、必ず入学してください。

(2) 公立高等学校入試合格者に対する入学準備物の配付について

推薦入試・一般入試合格者は、受験票を提示し、「入学準備物」を各高等学校から文書で指定された日時・場所により受け取ります。受験票はきちんと保管しておいてください。また、後述する開示請求の際にも必要になります。

(3) 学費について：平成20年4月1日～

- ①全日制：入学金 5,650円、授業料（年間）118,800円
- ②定時制：入学金 2,100円、授業料（年間）32,400円

ただし、「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」の施行に伴い、平成22年4月1日から公立高等学校の授業料は原則不徴収となりました。

(4) 学力検査教科別得点の口頭請求による開示（簡易開示）について

開示を希望する受験生等は受験した高校に直接申し出てください。開示期間は合格発表日の翌日より1月間となります。

平成23年度 国立高等専門学校全般について

1 国立高等専門学校について

- (1) 国立の高等教育機関であって「専門学校」とは全く異なります。
- (2) 5年間の一貫教育で、専門を身につけます。
- (3) 卒業後にすぐに世界で活躍できる国際的なエンジニアを育成します。
- (4) 卒業すると、「準学士」を取得できる。卒業後の進路については、90%以上が国立大学3年生への編入（2年間）、または、高専専攻科への進学（2年間）により「学士」（大学卒業資格）を取得できます。
- (5) 高等専門学校は、全国に国立51校・公立4校・私立3校があります。

2 仙台高等専門学校について

(1) 募集人員

①生産システムデザイン工学系【名取キャンパス：名取市愛島塩手字野田山48】

| 学 科 名 | 入学定員 | 推薦による選抜 | 学力検査による選抜 |
|------------|------|---------|-----------|
| 機械システム工学科 | 40名 | 16名 | 24名 |
| 電気システム工学科 | 40名 | 16名 | 24名 |
| マテリアル環境工学科 | 40名 | 16名 | 24名 |
| 建築デザイン学科 | 40名 | 16名 | 24名 |

②情報電子システム工学系【広瀬キャンパス：仙台市青葉区愛子中央4丁目16番1号】

| 学 科 名 | 入学定員 | 推薦による選抜 | 学力検査による選抜 |
|---------------|------|---------|-----------|
| 知能エレクトロニクス工学科 | 40名 | 16名 | 24名 |
| 情報システム工学科 | 40名 | 16名 | 24名 |
| 情報ネットワーク工学科 | 40名 | 16名 | 24名 |

(2) 選考方法：入学者の選抜は、推薦による選抜と、学力検査による選抜との2つの方法で実施。

(3) 入学検定料：16,500円 金融機関の窓口から振込、検定料払込済証明書を入学願書裏面に貼付してください。

(4) 推薦による入学者の選抜

①出願資格：

推薦入学を志願できる者は、次の条件に該当する者で、在籍学校長の推薦を得た者としてします。

ア 平成23年3月に中学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者

イ 基本的な生活習慣ができており、本校への入学意志が確かな者

ウ 調査書の各記録が優良であり、選択科目を除く9教科の3年間の「学習の記録」の評定（5段階評定）の合計点がおおむね108以上であること

②願書提出締切：平成22年12月16日（木）

③志願学科の選択について：第1志望で実施 ※第2志望から第4志望はなし。

④選抜の方法

推薦書、調査書、作文及び面接の総合判定による。なお、作文の課題は当日指定されます。時間は1時間とし、文字数は600字以内となります。

⑤作文、面接の日時及び試験会場

ア 日時：平成23年1月21日（木）午前10時から

イ 試験場：第1志望の学科があるキャンパスで試験を実施。

⑥判定結果の通知：

平成23年1月27日（木）午後3時に、インターネット上のホームページに受験番号を掲載されます。

※合格内定した場合は、必ず入学することになります。

⑦入学確約書の提出締切：平成23年1月31日（月）まで

※未提出の場合、合格内定取り消しとなります。

⑧推薦による入学者の選抜に合格とならなかった受験者の取り扱い

ア 推薦による入学者の選抜は、第1志望学科のみで行いますが、これに不合格になった場合は、「学力検査による選抜」を受験することができます。

イ 学力検査による選抜は、両キャンパス7学科から選択し、第1志望から第4志望までで行います。したがって、推薦入学志願者も第2志望から第4志望がある場合は、入学願書の所定の欄に記入することになります。

ウ 学力検査による選抜は、試験会場を選択することができます。

エ 提出書類（入学検定料を含む）を再提出する必要はありません。

(5) 学力検査による入学者の選抜

①出願資格 ※「学生募集要項参照」

推薦による入学者の選抜のように、5段階評定の合計点等の基準はありません。

②願書提出締切：平成23年2月20日（日）

③選抜の方法

ア 調査書、学力検査（5教科）の総合判定によります。

イ 各教科の配点は100点満点としますが、数学の配点は2倍として選抜します。

④学力検査の日時及び試験会場

ア 日時：平成23年2月25日（金）

イ 試験場：希望するキャンパスで試験を行います。

入学願書の所定の欄に試験希望キャンパスを記入します。

⑤合格者の発表：

平成23年2月25日（金）午前11時に、受験番号を両キャンパスに掲示されるとともに、インターネット上のホームページに掲載されます。

※合格した場合は、必ず入学することになります。

⑥入学意思確認書の提出：平成22年3月1日（火）まで

※未提出の場合、合格取り消しとなります。

⑦その他の注意事項

学力検査による選抜は、両キャンパス7学科から選択し、第1志望から第4志望までで行います。したがって、第2志望、第3志望、第4志望学科のある場合は、必ず入学願書の所定の欄に記入します。

(6) 合格者に対する入学に関する説明会及び面接について

①期日：平成23年3月9日（木） ※宮城県公立学校一般入試の学力検査日と同日となります。

②保護者同伴で出席しなくてはなりません。

③面接による合格取り消しはありませんが、欠席の場合は、合格取り消しとなります。

(7) 必要な費用等について

①入学手続き時に必要な費用

ア 入学料 84,600円

イ 学生障害保険 10,000円（5年分一括払い）

計 94,600円

②授業料（年額） 234,600円 ※前期分は4月、後期分は10月に納入。（半額ずつ）

③入学時に必要なその他の費用

約113,000円～155,500円（後援会会費、積立金、教材・教科書代等）

④就学支援金について

年額 118,800円～所得に応じて助成されます。

平成23年度 私立高等学校全般について

1 募集定員、学科、コース： 各高等学校によって異なる。詳しくは各高等学校の入学案内や募集要項を参照してください。

2 男女別 〈男子校〉 ●東北学院高等学校
〈女子校〉 ○宮城学院高等学校 ○聖ドミニコ学院高等学校
○仙台白百合学園高等学校 ○気仙沼女子高等学校
〈男女共学校〉 ◎東北高等学校 ◎聖和学園高等学校 ◎尚綱学院高等学校
◎常盤木学園高等学校（音楽科のみ共学） ◎東北学院榴ヶ岡高等学校
◎東北工業大学高等学校 ◎明成高等学校 ◎東北生活文化大学高等学校
◎聖ウルスラ学院英智高等学校 ◎仙台育英学園高等学校
◎古川学園高等学校 ◎大崎中央高等学校 ◎東陵高等学校
◎西山学院高等学校

3 入試の種類

(1) 特待生制度・奨学生制度

- ① 中学校での学業成績、特別活動、部活動等で特に優秀な成績を収め、人物が優れ、学校長の推薦があり、その高等学校だけを志願するという生徒に対する制度。
- ② 出願資格（学習成績の基準、大会やコンクールの成績等）や特典（入学金・授業料免除、学科試験免除）は、それぞれの高等学校で設定しています。不合格の場合でも、一般受験は可能です。ただし、再度手続きが必要である場合と、不要な場合があります。

(2) 推薦入試

- ① 私立高等学校全校・全学科で実施しており、書類審査と面接、作文で選考する高等学校がほとんど。
- ② 中学校での学業成績、特別活動、部活動等で優秀な成績を収め、人物が優れ、その高等学校だけを志願するという生徒に対する制度です。一般に推薦とは、学校長の推薦を意味しますが、他に校長推薦によらない自己推薦という制度もあります。
- ③ 出願資格（学習成績の基準、大会やコンクールの成績等）はそれぞれの高等学校で設定しています。不合格の場合でも、一般受験は可能です。

(3) 専願入試

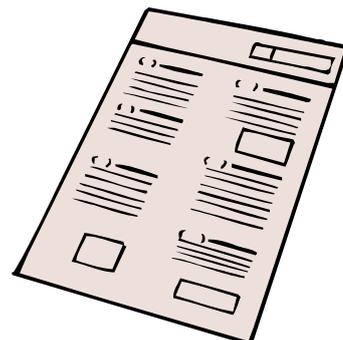
その高等学校を第一志望とし、合格したら必ず入学することを前提として出願する制度。一般受験と手続きや受験内容に変わりはありませんが、入学試験の合否判定の際に有利な配慮がなされます。

(4) 第一志望制度

私立高等学校の中で、第一志望として出願します。専願と同じような制度ですが、公立高等学校が不合格の場合必ず入学することを前提として出願する制度。公立高等学校に合格した場合には公立高等学校に入学してかまいません。

(5) 一般における特待生制度・奨学生制度

一般入試で高成績だった場合、学業奨学生として合格（採用）となる場合があります。



4 入試日

- (1) 推薦入学及び特待生・奨学生の選考期日：平成23年1月13日（木）
- (2) A・B日程：仙台地区の私立高等学校は平成23年2月1日（月）と2月3日（水）の2グループに分かれて一般入試を実施します。したがって、A日程校同士、B日程校同士の併願はできません。

| | 入試日 | |
|------------------|----------|---|
| Aグループ | 2月1日（火） | 東北高校，東北学院榴ヶ岡高校，東北工業大学宮城学院高校，聖和学園高校，聖ウルスラ英智 |
| Bグループ | 2月3日（木） | 東北学院高校，明成高校，東北生活文化大学仙台白百合学園高校，尚綱学院高校，常盤木学園高校，聖ドミニコ学院高校，仙台育英学園高校 |
| A・Bグループ以外の私立高等学校 | 1月26日（土） | 大崎中央高校，東陵高校，古川学園高校，西山 |
| | 1月27日（日） | 気仙沼女子高校，古川学園高校，西山学院高校 |

5 入試科目

- (1) 国語、数学、社会、理科、英語の5教科を実施する高等学校
- (2) 国語、数学、英語の3教科を実施する高等学校
- (3) 選択による3教科または2教科を実施する高等学校
- (4) 一般入試で面接を実施する高等学校
- (5) 実技を実施する高等学校
- (6) 入試問題の形式がマークシート式の高等学校
- (7) 入試問題の形式が記述式の高等学校

6 学費

高等学校や学科によって異なります。今年度より、就学支援金の月額9,900円（所得によって増額される場合があります。）が支給されるので、正規の授業料より修学支援金を差し引いた額を支払うこととなります。その他、施設管理費，教育充実費，入学金等がかかります。

A校の例として

入学時：180,000円（入学金50,000円＋施設設備費130,000円）

月ごとの支払い：34,100円（授業料26,000円＋教育充実費18,000円－就学支援金9,900円）

諸会費：生徒会費・修学旅行積立・PTA会費・実習費・副教材等がかかります。

学校独自の奨学金や授業料減免制度を設けている場合もあります。

7 その他

(1) 面接について

面接では、受験者の態度や服装、応答のしかたから、その人の人柄を判断されます。集団面接や保護者同伴面接を実施する高等学校もあります。面接では、わざと動揺するような質問をされる場合もあり、普段から落ち着きのあるきちんとした生活をしておくことが大切になります。

(2) 一時金納入制度

私立高等学校では、合格発表後、公立高等学校の出願前に入学金の一次金を納入することになります。納入しない場合は、入学資格を失うこととなります。納入期限は、学校ごとに設定しています。公立高等学校の入試結果により、入学金等の残金を二次金として納入します。

(3) スライド合格

出願の際、希望の有無を願書に記入すると、第一希望が不合格でも第二希望の学科やコースで合格するという制度。詳細は、各募集要項で確認してください。

東北高等学校 宮城学院高等学校 聖和学園高等学校 尚綱学院高等学校
常盤木学園高等学校 聖ドミニコ学院高等学校 東北工業大学高等学校
明成高等学校 仙台白百合学園高等学校 聖ウルスラ学院英智高等学校
仙台育英学園高等学校 古川学園高等学校 気仙沼女子高等学校

(4) 推薦・専願・一般入試における第一志望の特典

推薦・専願・第一志望等にして出願することにより、合格時に入学金の一部を減額するなどの特典を設けている学校や学科があります。詳細は、各募集要項で確認してください。

特典の一例

- ◎仙台育英学園高等学校 一般入学試験 専願合格（入学金の施設設備費 14,000円免除）
- ◎常盤木学園高等学校 一般推薦合格（入学金の教育充実費一部 10,000円免除）

(5) 大学への進学を考慮に入れた選択

大学進学まで考えて高校進学をするという考え方もあります。経営母体が同じだったり、指定校推薦枠をもっていたりと、大学と連携している高等学校は多くあります。指定校推薦枠は、全国の私大を中心として高等学校ごと数多く持っています。

〔例〕

| | |
|----------------------|-------------|
| 東北学院高等学校・東北学院榴ヶ岡高等学校 | → 東北学院大学 |
| 明成高等学校 | → 仙台大学 |
| 仙台白百合学園高等学校 | → 仙台白百合女子大学 |
| 尚綱学院高等学校 | → 尚綱学院大学 |
| 東北工業大学高等学校 | → 東北工業大学 |
| 東北生活文化大学高等学校 | → 東北生活文化大学 |
| 宮城学院高等学校 | → 宮城学院大学 |



その他の学校・就職

●宮城県立仙台高等技術専門校（仙台市宮城野区田子）

※来年度の募集要項は発表されていないため、昨年度の要項の一部です。

※現在、左官科の募集は休止されています。

【科名一覧】

| 科名 | 定員 | 訓練期間 | 入学対象者 |
|-------|-----|------|------------------------|
| 建築塗装科 | 10名 | 1年 | 求職中・転職希望の方又は学卒（見込み）者の方 |

受験料は無料

*入学金・授業料は無料

*第二次募集は、第一次募集で定員に満たない場合のみ実施。

●陸上自衛隊高等工科学校（神奈川県横須賀市）

①応募資格 15歳以上17歳未満の男子（中学校卒業又は見込みの者を含む）

②受付期間 平成22年11月1日（月）～平成23年1月7日（金）まで

③試験期日 1次：平成23年1月22日（土）

2次：平成23年2月5日（土）から8日（火）までの指定する1日

④合格発表 1次：平成23年2月1日（火）

最終：平成23年2月25日（金）

* 高等学校卒業資格が取得できる。

* 身分は自衛官ではなく、特別職国家公務員（生徒）で手当の支給を受けながら高等学校教育を受ける制度

●株式会社日立製作所 日立工業専修学校（茨城県日立市）

①願書受付 平成22年11月17日（水）～11月24日（水）まで

②試験日 平成22年12月8日（水）学力試験（国・数・英）、適性検査

平成22年12月8日（水）か9日（木）面接・・・仙台（市民会館）で受験可

③合格発表日 平成22年12月24日（金）

④合格確約日 平成23年1月7日（金）入学準備金納入

* 3年間で高校卒業資格取得、卒業後は日立グループで就労

* 3年間学費免除、奨学金支給、ただし、入学準備金は必要

* 全寮制

●その他

広域通信制・単位制 等 学校

・飛鳥未来高等学校

・北海道芸術高等学校

・クラーク記念国際高等学校仙台キャンパス

・ルネサンス高等学校仙台キャンパス

・KTC中央高等学院仙台キャンパス

・星槎国際高等学校

・第一高等学院高校コース仙台校 等

●就職

(1) 中学校卒業生への求人はほとんどないのが現状です。

(2) 就職を考えている人は、早めに担任へ申し出てください。

(3) 「職業適性検査」等を実施し、『ハローワーク』（公共職業安定所）に申し込みます。

その後、ハローワークで職業相談を実施します。

(4) 縁故などによる就職は避けてください。保障や賃金の面で不利益を被ったり、トラブルに巻き込まれる可能性があります。